

医学科教育学修プログラム

2019年度前期

3年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

2019年度 授業時間配当表(医学科3年次)

前 期(15)															
I ブロック(5)					II ブロック(5)					Ⅲブロック(5)					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	主題/人文・社会	病理学各論	基礎感染症学	病理学各論	基礎感染症学	応用英語Ⅰ	病理学各論	基礎感染症学	病理学各論	基礎感染症学	病理学各論試験	病理学各論	病理学各論	病理学各論	診断学 病理学各論
2	主題/人文・社会	病理学各論	基礎感染症学	人類遺伝学	基礎感染症学	主題/人文・社会	病理学各論	基礎感染症学	人類遺伝学	基礎感染症学	主題/人文・社会	病理学各論	病理学各論	人類遺伝学	応用英語Ⅰ
3	病理学各論	基礎感染症学	病理学各論	基礎感染症学	応用英語Ⅰ	病理学各論	基礎感染症学・実習	メデイカルコミュニケーション	基礎感染症学・実習	放射線診断学	診断学	基礎感染症学	メデイカルコミュニケーション	基礎感染症学	放射線診断学
4	病理学各論	基礎感染症学	病理学各論	基礎感染症学	画像診断入門	病理学各論	基礎感染症学・実習	診断学	基礎感染症学・実習	放射線診断学	診断学	診断学	診断学	診断学	放射線診断学
5															

後 期(15)															
I ブロック(4)					II ブロック(6)					III ブロック(5)					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	応用英語Ⅱ	疫学と予防医学	臨床血液学	治療学	臨床消化器学	応用英語Ⅱ	(試験)	臨床血液学	臨床循環器学	臨床消化器学	応用英語Ⅱ
2	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	主題／人文・社会	疫学と予防医学	臨床血液学	治療学	臨床循環器学	主題／人文・社会	疫学と予防医学	臨床血液学	臨床循環器学	臨床消化器学	主題／人文・社会
3	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	治療学	臨床消化器学	臨床循環器学	臨床内分泌・代謝学	臨床呼吸器学	治療学	臨床消化器学	臨床呼吸器学	臨床内分泌・代謝学	臨床呼吸器学	臨床循環器学
4	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	治療学	臨床消化器学	臨床循環器学	* (調整枠)	臨床呼吸器学	治療学	臨床消化器学	臨床循環器学	臨床内分泌・代謝学	臨床呼吸器学	臨床呼吸器学
5															

※配当表のとおり実施できない科目がありますので、シラバスを確認すること。

※5限目等で補講を行う。休講補講等の通知は掲示板で行うので確認すること。

※主題等は、日本の文化と心、環境科学、経営学入門、英文学です。

15週制

2019年度・七曜表

(医学科3年次)

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4		1	2	3	4	5	6	1
	7	8	9	10	11	12	13	2
	14	15	16	17	18	19	20	3
	21	22	23	24	25	26	27	4
	28	29	30	1	2	3	4	
5	5	6	7	8	9	10	11	5
	12	13	14	15	16	17	18	6
	19	20	21	22	23	24	25	7
	26	27	28	29	30	31	1	8
6	2	3	4	5	6	7	8	9
	9	10	11	12	13	14	15	10
	16	17	18	19	20	21	22	11
	23	24	25	26	27	28	29	12
7	30	1	2	3	4	5	6	13
	7	8	9	10	11	12	13	14
	14	15	16	17	18	19	20	15
	21	22	23	24	25	26	27	試験
	28	29	30	31	1	2	3	
8	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	再
9	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	再試
	29	30						

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10			1	2	3	4	5	1
	6	7	8	9	10	11	12	2
	13	14	15	16	17	18	19	3
	20	21	22	23	24	25	26	4
	27	28	29	30	31	1	2	5
11	3	4	5	6	7	8	9	6
	10	11	12	13	14	15	16	7
	17	18	19	20	21	22	23	8
	24	25	26	27	28	29	30	9
12	1	2	3	4	5	6	7	10
	8	9	10	11	12	13	14	11
	15	16	17	18	19	20	21	12
	22	23	24	25	26	27	28	13
	29	30	31	1	2	3	4	
1	5	6	7	8	9	10	11	14
	12	13	14	15	16	17	18	15
	19	20	21	22	23	24	25	16
	26	27	28	29	30	31	1	試験
2	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	再試
	23	24	25	26	27	28	29	
3	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

備考

- ◇ 5月7日(火) 月曜日授業
- ◇ 6月1日(土) 開学記念日
- ◇ 7月24日(水) 定期試験開始
- ◇ 8月6日(火) 定期試験終了
- ◇ 8月26日(月) 再試験期間開始
- ◇ 8月30日(金) 再試験期間終了
- ◇ 9月24日(火) 再試験期間開始
- ◇ 9月30日(月) 再試験期間終了

- ◇ 11月6日(水) 月曜日授業
- ◇ 1月16日(木) 月曜日授業
- ◇ 1月17日(金) 午前中のみ金曜日授業
- ◇ 1月28日(火) 定期試験開始
- ◇ 2月10日(月) 定期試験終了
- ◇ 2月12日(水) 再試験期間開始
- ◇ 2月28日(金) 再試験期間終了

※応用英語で高橋クラスの学生はTOEICを必ず受験してください。(前・後期各1回実施予定)

月曜授業
 火曜授業
 水曜授業
 木曜授業
 金曜授業

凡例	高度 Advanced	A	医師と同等のレベルであること	学年	科目名	情報リテラシー入門など	1-4年						3年															
	応用 Applied	B	スチューデントドクター相当の医学生として模範的に関与、行動できる				入門科目	教養主題科目	教養基幹科目	教養基幹科目	外国語科目	健康スポーツ科学実技	基礎感染症学・実習	病理学各論	人類遺伝学	疫学と予防医学	研究室配属	メディカルコミュニケーション	画像診断入門	放射線診断学	診断学	治療学	臨床消化器学	臨床循環器学	臨床呼吸器学	臨床内分泌・代謝学	臨床血液学	
	基盤 Basic	C	基盤となる能力を習得していること				医療英語・社会福祉・食生活学など	人文社会科学・社会学・生命倫理学	自然分野・基礎生物学・基礎化学など	実験演習分野・理学・工学・農学・薬学・看護学・バイオエンジニアリングなど	コミュニケーション英語・英語・第二外国語など																	
		D	基盤となる知識を習得していること																									
		E	経験・習得する機会はあるが、単位認定に関係ない																									
		F	経験・習得する機会がない																									
				単位		5	16	9	6	8	1	6	5	1	1	3	0.5	0.5	1	2	2	2.5	2.5	2	1	1.5		
				科目責任者								景山誠二	加藤雅子	難波栄二	尾崎米厚	海藤俊行	兼子幸一	藤井進也	藤井進也	磯本一	今村武史	藤原義之	中西村元延	山崎章	山本一博	福田智也		

- 責任ある医療を実践するための倫理観を持ち、それに基づいて行動できる。
- 患者の利益を重視する患者中心の医療を習得し、実践できる。
- 生涯にわたり自己研鑽して高い医療水準と誠実さを持ち続けるために、内発的動機による自己学習能力を持ち、応用できる。

[illegible]

- ・障害者とコミュニケーションしたり、地域フィールドの中でコミュニケーションしたりする能力を実践的に習得して、医療現場等で応用できる。
- ・情報社会を理解して、安全かつ有効に情報ネットワークを活用できる。

Ⅲ チーム医療

[illegible]

IV 医学の知識

医療女王の基礎を学び、予防対策を講ずることができる。																						
1	物理学・化学・生物学の知識を人体の構造や機能の理解に応用	F	F	F	D	F	F	F	C	D	D	F	F	F	C	C	D	D	D	D	D	D

V 診療の実践

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

1	地域住民の健康状態には、家族、地域社会、文化などの社会環境が関与していることを理解できる。	E	E	F	F	E	F	F	F	F	F	D	F	D	F	F	F	F	D	F	F	F	F
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2019年度 前期定期試験日程表【医学科3年次】

定期試験

(試験期間前の定期試験実施日時)

月	日	曜	試験科目	試験時間	試験会場
5	31	金	画像診断入門	13:30～14:30	122
7	8	月	基礎感染症学(第Ⅰブロック)	8:30～10:10	未定
	22	月	基礎感染症学(第Ⅱブロック)	8:30～10:10	未定

(試験期間中の定期試験実施日時)

月	日	曜	試験科目	試験時間	試験会場
7	24	金	応用英語Ⅰ(高橋)	9:00～10:00	323
	25	木	人類遺伝学	10:30～11:30	122
	26	金	基礎感染症学(第Ⅲブロック)	9:00～10:40	122
	30	火	病理学各論Ⅰ	9:00～10:30	組織系
	31	水	病理学各論Ⅱ	13:00～14:30	組織系
8	2	金	放射線診断学	13:00～14:00	122
	5	月	診断学	15:00～17:00	122

再試験

月	日	曜	試験科目	試験時間	試験会場
未 定			画像診断入門		
			応用英語Ⅰ(高橋)		
			病理学各論Ⅰ		
			基礎感染症学		
			人類遺伝学		
			病理学各論Ⅱ		
			診断学		
			放射線診断学		

※試験日程は予定です。日程が変更になる場合は再度案内します。

医学科3年次目次

前期

	区分	授業科目名	
選択	主題	日本の文化と心	 1年次参照
選択	主題	環境科学	 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	経営学入門	 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	英文学	 1年次参照
必修	外国語	応用英語 I (黒沢・景山クラス)	 1
	外国語	応用英語 I (高橋クラス)	 2
必修	専門科目	基礎感染症学	 3 ~ 7
必修	専門科目	基礎感染症学実習	 8
○ 必修	専門科目	病理学各論	 9 ~ 13
必修	専門科目	人類遺伝学	 14
必修	専門科目	メディカルコミュニケーション	 15
必修	専門科目	画像診断入門	 16
必修	専門科目	診断学	 17 ~ 18
必修	専門科目	放射線診断学	 19

※選択科目:選択、選択必修科目:選必、必修科目:必修は平成29年度入学者を基準としています。

※応用英語は、クラス分けを發表しますので、確認ください。

※主題、基幹(人文・社会)から4年次終了までに16単位修得してください。

※○は、公開授業講座となり、一般の方が講義を受講されることがあります。

授業のレベルについて

- 1:入門及び初級レベル
- 2:中級レベル(基礎科目)
- 3:中級～上級レベル(応用科目)
- 4:上級レベル(発展科目)
- 5:大学院レベル

応用英語 I (黒沢・景山クラス)

科目到達目標: 国際的な英文医学雑誌に掲載された記事を、要約できる能力の開発をめざす。

科目責任者(所属教室): 景山 誠二(ウイルス学)

連絡先: 0859-38-6081, E-mail: skageyama@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	4/1(月)	1	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(1)	増本 年男	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
2	4/5(金)	3	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(2)	増本 年男	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
3	4/12(金)	3	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(3)	天野 宏紀	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
4	4/19(金)	3	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(4)	天野 宏紀	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
5	4/26(金)	3	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(5)	天野 宏紀	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
6	5/10(金)	3	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(6)	黒沢 洋一	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
7	5/20(月)	1	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(7)	黒沢 洋一	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
8	5/27(月)	1	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(8)	景山 誠二	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
9	6/3(月)	1	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(9)	金井 亨輔	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
10	6/10(月)	1	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(10)	景山 誠二	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
11	6/21(金)	2	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(11)	金井 亨輔	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
12	6/28(金)	2	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(12)	景山 誠二	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
13	7/5(金)	2	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(13)	金井 亨輔	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
14	7/12(金)	2	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(14)	景山 誠二	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
15	7/19(金)	2	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(15)	金井 亨輔	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約

教育ブランドデザインとの関連: 2、3、5

学位授与の方針との関連: 1、2、3

授業のレベル: 3(中級～上級レベル: 応用科目)

評価: 小試験

実務経験との関連: 米国立衛生研究所でVisiting Fellow。英語を公用語とするフィリピン共和国での政府開発援助に従事。

科目責任教員への連絡方法: 面談は、随時可能ですが、放課後5時から7時を学生面談の標準時間としています。

教科書: 毎回英文記事を提供する。

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

応用英語Ⅰ（高橋クラス）

科目到達目標：医学関連トピックの文章や診療英会話に頻出の語彙や表現について理解し、説明できる。

上記語彙や表現を、英語での簡単なコミュニケーション、情報収集、プレゼンテーションなど実践的な場面で活用できる。

科目責任者(所属教室)：高橋 洋一(医学教育学)

連絡先：0859-38-6436（研究室）

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(月)	1	C演習室	オリエンテーション	高橋 洋一	医学教育学	e-learning教材による学習方法を理解する。	e-learning教材による学習
2	4/5(金)	3	C演習室	TOEIC演習(1)	高橋 洋一	医学教育学	TOEICの出題形式と目的を把握する。	TOEICの出題形式・目的
3	4/12(金)	3	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事のリーディングにより、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
4	4/19(金)	3	C演習室	TOEIC演習(2)	高橋 洋一	医学教育学	基本的なリーディング・リスニングの自主的なトレーニングを行う。	リーディング、リスニングの自己学習
5	4/26(金)	3	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事のリーディングにより、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
6	5/10(金)	3	C演習室	TOEIC演習(3)	高橋 洋一	医学教育学	基本的なリーディング・リスニングの自主的なトレーニングを行う。	リーディング、リスニングの自己学習
7	5/20(月)	1	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事のリーディングにより、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
8	5/27(月)	1	C演習室	TOEIC演習(4)	高橋 洋一	医学教育学	基本的なリーディング・リスニングの自主的なトレーニングを行う。	リーディング、リスニングの自己学習
9	6/3(月)	1	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事のリーディングにより、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
10	6/10(月)	1	C演習室	TOEIC演習(5)	高橋 洋一	医学教育学	基本的なリーディング・リスニングの自主的なトレーニングを行う。	リーディング、リスニングの自己学習
11	6/21(金)	2	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事のリーディングにより、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
12	6/28(金)	2	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview
13	7/5(金)	2	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview
14	7/12(金)	2	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview
15	7/19(金)	2	C演習室	ALC NetAcademy NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連：1、2、5
学位授与の方針との関連：1、3

授業のレベル：3

評価：定期試験 40%、小試験 35%、小レポート 15%、TOEICスコア 10%

教科書：ALC NetAcademy NEXT (e-learning教材)

その他：6月22日(土)に学内で実施するTOEICを受験すること。授業ではe-learning教材を中心に他教材も併用しての演習を行うので、学習状況に応じて内容が前後することや、

同一期限内で複数の内容を組み合わせて実施することがある。

基礎感染症学

到達目標：1) 寄生虫の生活史とヒトへの感染様式、体内移行経路、免疫応答などの病態、症状・診断・治療および病害動物・病害伝搬について理解する。

2) 病原細菌および真菌類の特徴とその感染症、抗菌薬療法と感染制御の基本的な考え方を理解し、感染症診療における論理的分析力および総合的判断力を身につける。

3) 病原ウイルスの特徴とその感染症、感染制御の基本的な考え方を理解し、感染症診療と予防における分析力・判断力を身につける。

科目責任者(所属教室)：景山 誠二(ウイルス学)

連絡：E-mail skageyama@tottori-u.ac.jp 電話 0859-38-6081

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	4/1(月)	2	323	ウイルス学総論(1)	景山 誠二	ウイルス学	ウイルス感染症の問題について概略を説明できる	輸入感染症、市中感染症、サーベイランス、流行制御、医療機関・地方と中央行政・国際機関
2	4/2(火)	3	323	蠕虫総論	大槻 均	医動物学	蠕虫類の分類、形態学的特徴、生活史、感染経路と疫学を説明できる	吸虫、条虫、線虫、形態、生活史、感染経路、人獣共通感染症
3	4/2(火)	4	323	原虫総論	大槻 均	医動物学	原虫類の分類、形態学的特徴、生活史、感染経路と疫学を説明できる	原虫、生活史、感染経路、宿主特異性、臓器特異性
4	4/3(水)	1	323	細菌学総論(1) 細菌の分類と構造、物質代謝	松葉 隆司	細菌学	細菌の分類と構造、物質代謝について理解する。	荚膜、細胞壁、鞭毛、芽胞、代謝
5	4/3(水)	2	323	細菌学総論(2) 細菌感染の機構と細菌毒素	藤井 潤	細菌学	細菌感染の成立と発症の条件を理解する。細菌毒素の作用機序を理解する。	感染経路、潜伏期、定着因子、細菌毒素
6	4/4(木)	3	323	ウイルス学総論(2)	景山 誠二	ウイルス学	ウイルスの生物学的性状、複製、発症病理について概略を説明できる	形態、構造と分類、細胞死、発癌、伝播経路、複製(増殖)、免疫と自然経過、免疫回避、流行
7	4/4(木)	4	323	ウイルス学総論(3)	景山 誠二	ウイルス学	予防と治療からなる感染症対策の概略を説明できる	診断と検査、抗ウイルス薬、遺伝子変異、薬剤耐性、滅菌と消毒
8	4/5(金)	1	323	消化管寄生線虫症	大槻 均	医動物学	回虫や糞線虫など消化管寄生虫症が説明できる	回虫、鉤虫、鞭虫、蟯虫、糞線虫、フィリピン毛細虫、東洋眼虫
9	4/5(金)	2	323	幼虫移行症	大槻 均	医動物学	組織寄生の幼虫移行症が説明できる	イヌ回虫、ブタ回虫、アライグマ回虫、広東住血線虫
10	4/9(火)	3	323	ウイルス学各論(1) Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses
11	4/9(火)	4	323	ウイルス学各論(1) Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses と感染症(続き)	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Pox, Arena, Bunya, Filo, Flavi, Rabiesviruses
12	4/10(水)	1	323	細菌学総論(3) 細菌の遺伝学、病原性、診断法	松葉 隆司	細菌学	細菌の遺伝、病原因子、診断手法について理解する。	プラスミド、バクテリオファージ、伝達、変異、毒素
13	4/10(水)	2	323	細菌学総論(4) 化学療法剤とワクチン	藤井 潤	細菌学	化学療法剤の特徴、作用機序、薬剤耐性機構を理解する。また代表的ワクチンについて理解する。	化学療法剤の化学構造、作用点、作用機序、ワクチン
14	4/11(木)	3	323	ウイルス学各論(2) 各種herpesviruses と感染症	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	各種herpesviruses、潜伏と再活性化
15	4/11(木)	4	323	ウイルス学各論(2) 各種herpesviruses と感染症(続き)	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	各種herpesviruses、潜伏と再活性化

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者名	講座分野・診療科 (非常勤講師)	到達目標	講義のキーワード
16	4/12(金)	1	323	血液・組織寄生原虫症	坪井 敬文	医動物学 (非常勤講師)	マラリアの生活史、症状、診断・治療について説明ができる	マラリア
17	4/12(金)	2	323	血液・組織寄生原虫症	坪井 敬文	医動物学 (非常勤講師)	マラリアの生活史、症状、診断・治療について説明ができる	マラリア
18	4/16(火)	3	323	細菌学各論(1) グラム陽性有芽胞桿菌	松葉 隆司	細菌学	グラム陽性有芽胞桿菌の特徴と疾患を理解する。	バシラス属、クロストリジウム属、外毒素、芽胞形成
19	4/16(火)	4	323	細菌学各論(2) グラム陽性球菌、グラム陰性球菌	藤井 潤	細菌学	グラム陽性および陰性球菌群の特徴と疾患を理解する。	ブドウ球菌、レンサ球菌、淋菌、髄膜炎菌
20	4/17(水)	1	323	細菌学各論(3) 抗酸菌とジフテリア	松葉 隆司	細菌学	結核菌、非結核性抗酸菌、ジフテリア菌の病原性と病態および治療を理解する。	結核菌、非結核性抗酸菌、細胞内寄生性、ジフテリア、ワクセン
21	4/17(水)	2	323	細菌学各論(4) 消毒と滅菌、感染症法	藤井 潤	細菌学	消毒と滅菌が適切に行うことができる。新感染症法を正しく理解する。	消毒薬、加熱滅菌、オートクレーブ、濾過滅菌、バイオテロリズム
22	4/18(木)	3	323	ウイルス学各論(3) Adeno, Calici, Rota, Enteroviruses と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Adeno, Calici, Rota, Enteroviruses
23	4/18(木)	4	323	ウイルス学各論(4) Hepatitis A, B, C, D, E viruses と感染症	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Hepatitis A, B, C, D, E viruses
24	4/19(金)	1	323	幼虫移行症	大槻 均	医動物学	組織寄生の幼虫移行症が説明できる	アニサキス、顎口虫、旋尾線虫、マンソン孤虫、芽殖孤虫
25	4/19(金)	2	323	門脈・肝・胆道系、消化管寄生吸虫症	大槻 均	医動物学	住血吸虫症や肝蛭症など主な吸虫類の説明ができる	住血吸虫、セルカリア皮膚炎、肝蛭、肝吸虫、横川吸虫
26	4/23(火)	3	323	消化管、組織寄生条虫症	近藤 陽子	医動物学	住血吸虫症や肝蛭症など主な吸虫類の説明ができる	日本海裂頭条虫、大複殖門条虫、無鉤条虫、有鉤条虫、有鉤囊虫症
27	4/23(火)	4	323	肺寄生虫症	大槻 均	医動物学	ニューモシスチス肺炎など主要な肺寄生虫症の症候、診断・治療を説明できる	ニューモシスチス、肺吸虫、犬糸状虫
28	4/24(水)	1	323	ウイルス学各論(5) Measles, Mumps, Rubella, Parvoviruses と感染症、ワクセンと予防接種	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Measles, Mumps, Rubella, Parvoviruses、ワクセン、予防接種
29	4/24(水)	2	323	ウイルス学各論(6) Papillomavirus と感染症	金井 亨輔	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Papillomavirus
30	4/25(木)	3	323	ウイルス学各論(7) HTLV-1, HIV-1 と感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	HTLV-1, HIV-1, 2
31	4/25(木)	4	323	ウイルス学各論(8) 呼吸器感染症	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Parainfluenzaviruses, RS viruses, Rhinoviruses, Metapneumo, Boca, SARS-CoV, MERS-CoV,
32	4/26(金)	1	323	血液・リンパ系寄生、組織寄生	大槻 均	医動物学	組織寄生虫症の特徴が説明できる	バンクロフト系状虫、回旋糸状虫、メジナ虫、旋毛虫
33	4/26(金)	2	323	消化管・肝、脳寄生虫症	大槻 均	医動物学	エキノコックス症、アメーバ赤痢を説明できる	エキノコックス、赤痢アメーバ、病原性自由生活性アメーバ
34	5/7(火)	3	323	ウイルス学実習の説明	金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス検査に活用されている手法について概説できる。	ウイルス検査手法、細胞変性効果、HA、HI、PCR
35	5/7(火)	4	323	医師・旅行者のための予防接種と抗体検査	千酌 浩樹	感染制御部	臨床実習までに充分時間のある時期に、予防接種・抗体検査の意義について理解し、必要な対策を立てられる。	予防接種、抗体価と感染、医療関係者、旅行者
36	5/8(水)	1	323	細菌学各論(5) 動物由来感染症	松葉 隆司	細菌学	動物由来感染症の特徴と疾患および治療を理解する。	ブルセラ症、野兔病、猫ひっかき病、Q熱
37	5/8(水)	2	323	細菌学各論(6) レジオネラと呼吸器感染症	藤井 潤	細菌学	レジオネラの細胞内寄生機構と病態・治療を理解する。百日咳菌、インフルエンザ菌の病態を理解し、診断できる。	レジオネラ、百日咳菌、インフルエンザ菌

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
38	5/9(木)	3	323	細菌学各論(7)クラミジア科、リケッチア目	松葉 隆司	細菌学	クラミジア科、リケッチア目細菌の特徴と疾患を理解する。	偏性細胞内寄生性、媒介節足動物、性感染症
39	5/9(木)	4	323	細菌学各論(8)カンピロバクターとヘリコバクター	藤井 潤	細菌学	カンピロバクターとヘリコバクター病原性・病態および治療を理解する。	食中毒、小児下痢症、慢性胃炎と胃潰瘍、胃がん、ウレアーゼ
40	5/10(金)	1	323	消化管、生殖器、血液・組織寄生原虫症	大槻 均	医動物学	腸管および生殖器寄生原虫および血液・組織寄生原虫を説明できる	クリプトスポリジウム、ジアルジア、トリコモナス、トキソプラズマ
41	5/10(金)	2	323	血液・組織寄生原虫症	伊藤 大輔	医動物学	トリパノソーマ、リーシュマニアおよび熱帯医学の基本的事項を説明できる	トリパノソーマ、リーシュマニア、熱帯医学
42	5/14(火)	3	323	細菌学各論(9)腸内細菌科の細菌とビブリオ属	藤井 潤	細菌学	腸内細菌科の細菌とビブリオ属の病原性と病態を理解する。	サルモネラ、下痢原性大腸菌、赤痢、腸チフス、ペスト、コレラ、腸炎ビブリオ
43	5/14(火)	4	323	細菌学各論(10) 食中毒と集団感染	藤井 潤	細菌学	食中毒を中心とした集団感染の予防対策ができる。	集団感染、食中毒、腸管出血性大腸菌O157
44	5/15(水)	3	323	細菌学各論(11)マイコプラズマ科細菌、スピロヘータ、放線菌類	尾鶴 亮	細菌学	マイコプラズマ科細菌、ボレリア、レプトスピラ、トレポネーマ、アクチノマイセス、ノカルジアの病原性と病態および治療を理解する。	ペニシリン非感受性、マイコプラズマ肺炎、非淋菌性尿道炎、ライム病、ワイル病、梅毒、アケチノマイセス、ノカルジア
45	5/15(水)	4	323	細菌学各論(12)院内感染と緑膿菌	藤井 潤	細菌学	緑膿菌とブドウ糖非発酵菌の病原性を理解する。耐性菌について学び、院内感染の対策を実行できる。	院内感染、市中感染、緑膿菌、MRSA、VRE、ESBL、MBL、アシネトバクター
46	5/17(金)	1	323	病原保有、病原伝播	大槻 均	医動物学	病原保有、病原伝播について説明できる。	ツツガムシ、日本紅斑熱、疥癬、ケジラミ、アレルギーマニ、ヒョウビダニ
47	5/17(金)	2	323	病害動物、ダニアレルギー	大槻 均	医動物学	病害動物およびダニアレルギーについて説明できる。	毒蛇咬傷・ハチ刺傷、疥癬、ケジラミ、アレルギーマニ、ヒョウビダニ
48	5/22(水)	1	323	真菌学総論	榎村 浩一	細菌学(非常勤講師)	おもな病原真菌の分類、同定法、感染症を理解する。	二形性、胞子、深在性真菌症、表在性真菌症、真菌アレルギー、マイコトキシン、日和見感染、基礎疾患
49	5/22(水)	2	323	真菌学各論	榎村 浩一	細菌学(非常勤講師)	おもな真菌症の病態、診断および治療法を理解する。	カンジダ症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症、ムコール症、皮膚糸状菌症
50	5/24(金)	1	323	寄生虫感染と免疫応答	近藤 陽子	医動物学	寄生虫感染免疫および寄生虫由来免疫抑制因子について理解できる	寄生虫感染と免疫応答、免疫抑制因子
51	5/24(金)	2	323	寄生虫症の診断と治療	大槻 均	医動物学	寄生虫症の診断法と治療法を説明できる	臨床寄生虫学、好酸球増多、免疫診断、遺伝子診断、駆虫薬
52	5/29(水)	1	323	ウイルス学各論(9) Influenza	景山 誠二	ウイルス学	関連ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	Influenzaviruses,
53	5/29(水)	2	ETU2-5~8、ETU3-3~13	感染症チュートリアル(1)	感染制御学講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
54	5/31(金)	1	323	ウイルス学各論(10) BK/JC viruses, Prionと感染症	景山 誠二	ウイルス学	ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	BK/JC viruses, Prion
55	5/31(金)	2	323	ウイルス学各論(11) 総括と臨床感染症学への繋ぎ	景山 誠二	ウイルス学	ウイルスの増殖機構、診断・治療・予防方法について概説できる。	各種ウイルス、予防、治療、研究
56	6/5(水)	1	ETU2-5~8、ETU3-3~13	感染症チュートリアル(2)	感染制御学講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
57	6/5(水)	2	ETU2-5~8、ETU3-3~13	感染症チュートリアル(3)	感染制御学講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
58	6/7(金)	1	ETU2-5~8、 ETU3-3~13	感染症チュートリアル(4)	感染制御学 講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
59	6/7(金)	2	ETU2-5~8、 ETU3-3~13	感染症チュートリアル(5)	感染制御学 講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
60	6/12(水)	1	ETU2-5~8、 ETU3-3~13	感染症チュートリアル(6)	感染制御学 講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
61	6/12(水)	2	ETU2-5~8、 ETU3-3~13	感染症チュートリアル(7)	感染制御学 講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
62	6/14(金)	1	ETU2-5~8、 ETU3-3~13	感染症チュートリアル(8)	感染制御学 講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
63	6/14(金)	2	ETU2-5~8、 ETU3-3~13	感染症チュートリアル(9)	感染制御学 講座全教員	全分野	症例等の文献検索・文献収集をし、各グループで学習・発表準備を行う	病原体、感染経路、症状、検査法、診断、治療、予防、感染制御
64	6/18(火)	3	323	医動物学発表会(1)	大槻 均、 近藤 陽子、 伊藤 大輔	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
65	6/18(火)	4	323	医動物学発表会(2)	大槻 均、 近藤 陽子、 伊藤 大輔	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
66	6/20(木)	3	421	医動物学発表会(3)	大槻 均、 近藤 陽子、 伊藤 大輔	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
67	6/20(木)	4	421	医動物学発表会(4)	大槻 均、 近藤 陽子、 伊藤 大輔	医動物学	寄生虫感染症例を提示し、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し議論できる。	臨床寄生虫学
68	6/25(火)	3	323	ウイルス学発表会(1)	景山 誠二、 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
69	6/25(火)	4	323	ウイルス学発表会(2)	景山 誠二、 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
70	6/27(木)	3	421	ウイルス学発表会(3)	景山 誠二、 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
71	6/27(木)	4	421	ウイルス学発表会(4)	景山 誠二、 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染症例を提示し、ウイルスの特徴、感染経路、症状、診断、治療、予防の要点を説明し、議論できる。	臨床ウイルス学
72	7/2(火)	3	323	細菌学発表会(1)	藤井 潤、 松葉 隆司、 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学
73	7/2(火)	4	323	細菌学発表会(2)	藤井 潤、 松葉 隆司、 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者名	講座分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
74	7/4(木)	3	421	細菌学発表会(3)	藤井 潤、 松葉 隆司、 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学
75	7/4(木)	4	421	細菌学発表会(4)	藤井 潤、 松葉 隆司、 尾鶴 亮	細菌学	細菌学的特徴、臨床的特徴、診断、治療(抗菌薬療法)、予防、感染制御の要点を説明し議論できる	臨床細菌学

教育グランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、6

学位授与の方針(医学科)との関連: 1、2、3、4、5

授業のレベル: 2(中級レベル・基礎科目)、一部3(中級～上級レベル: 応用科目)

評価: 全ての分野・細菌学・ウイルス学・医動物学)において理解が十分と判断される場合に限り合格とし、最終評価点は平均点とします。

何れかの分野において、理解が不十分な場合には、平均点に関係なく「基礎感染症学・講義」の単位は修得できません。

実務経験との関連

●ウイルス学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生講義と研究。国内外研究施設に於ける研究。病院診療。政府開発援助による臨床検査指導。ワクチンメーカーに於ける製造・品質検査。

●細菌学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生実習指導と研究。国内外研究施設に於ける研究。政府開発援助による臨床検査指導。ワクチンメーカーに於ける製造・品質検査。

行政機関における食肉衛生検査。

●医動物学分野: 本学・他大学医学部に於ける学生講義と研究。国内外研究施設に於ける研究。病院診療。寄生虫症例についての医療相談

教科書/参考書: 医動物学は特に指定しない。代表的な教科書を2つを推奨する。1)寄生虫学テキスト(第3版)、文光堂、2008年; 2)図説人体寄生虫学(第9版)、南山堂、2016年、

細菌学は特に指定しない。

代表的な教科書は、1)戸田新細菌学 改訂34版・南山堂(2013)、2)標準微生物学 第11版・医学書院(2012)、

その他)臨床麻酔実践シリーズ9・麻酔科医が知っておくべき感染症の知識 ライフメデイクム

ウイルス学は特に指定しない。代表的な教科書は以下のとおりであり、訳書も販売されている。追加資料を必要とする場合には教育担当者とは個別に協議することを勧める。

1. Principles of virology: molecular biology, pathogenesis, and control of animal viruses. Flint et al. ASM Press Washington DC, USA
2. Harrison's principles of internal medicine. McGraw-Hill, NY, USA.

その他の注意事項: 細菌学講義には初回から、充実電済のノートパソコンまたはタブレットが必須です。Moodleに接続できるようにして下さい。スマホの使用は不可です。

各教員への連絡方法: それぞれの担当分野のホームページから連絡先を検索し、直接お訪ね下さい。

科目責任教員への連絡方法: 面談その他は、随時可能です。特に、放課後5時から7時を学生面談の標準時間としています。連絡はHPにメールアドレス、電話番号を記しています。

基礎感染症学実習

科目到達目標:病原体の特徴を理解し、診断・同定ができる。

科目責任者(所属教室): 景山 誠二(ウイルス学)

連絡: E-mail skageyama@tottori-u.ac.jp 電話 0859-38-6081

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者名	講義・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	5/16(木)	3	感染生化	ウイルス学実習:細胞変性効果	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染により細胞に異常を生じることを、形態変化の観察によって知る。	細胞形態の変化、細胞死、倒立顕微鏡
2		4,5						
3	5/21(火)	3	感染生化	ウイルス学実習:血清検査	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染を診断する方法のひとつとして、血清を材料とする診断学の一部を学ぶ。	血清、抗原、抗体、HA、HI
4		4,5						
5	5/23(木)	3	感染生化	ウイルス学実習:核酸検査	景山 誠二 金井 亨輔	ウイルス学	ウイルス感染を診断する方法のひとつとして、ウイルス核酸を材料とする診断学の一部を学ぶ。	遺伝子増幅、PCR、電気泳動、分子量、遺伝子配列
6		4,5						
7	5/28(火)	3	感染生化	線虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	回虫、アニサキスなど主要な線虫類の形態学的特徴を把握し診断ができる	回虫、蟯虫、糞線虫、アニサキス
8		4,5	感染生化	吸虫類			主要な吸虫類の形態学的特徴を把握し診断できる	肺吸虫、日本住血吸虫、肝蛭、肝吸虫、横川吸虫
9	5/30(木)	3	感染生化	糸虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	主要な糸虫類の形態学的特徴を把握し診断ができる	エキノコックス、日本海裂頭条虫、マンソン裂頭条虫、無鉤条虫
10		4,5	感染生化	原虫類			主要な原虫類の形態学的特徴と組織像を把握し診断できる	赤痢アメーバ、ジアルジア、クリプトスポリジウム、
11	6/4(火)	3	感染生化	原虫類	大槻 均 近藤 陽子 伊藤 大輔	医動物学	マラリアなど主要な原虫の形態学的特徴を把握し診断できる	熱帯熱マラリア、三日熱マラリア
12		4,5	感染生化	原虫類			主要な原虫と衛生動物の形態学的特徴を把握し診断できる	トキソプラズマ、ニューモシスチス、マダニ
13	6/6(木)	3	感染生化	分離培養(1),グラム染色	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	細菌を図示し、形態と染色性による分類ができる。	グラム染色性
14		4,5	感染生化	真菌			真菌の特徴が説明できる	Candida albicans、真菌の二形性、germ tube
15	6/11(火)	3	感染生化	分離培養(2)	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	細菌を図示し、形態と染色性による分類ができる。	グラム染色性、Genus Staphylococcus、Genus Escherichia
16		4,5	感染生化	細菌の同定(1)			細菌学的診断と血清学的診断ができる。	細菌の栄養と物質代謝、血清学的診断
17	6/13(木)	3	感染生化	細菌の同定(2)	藤井 潤 松葉 隆司 尾鶴 亮	細菌学	腸内細菌科細菌の同定ができる	Genus Escherichia、Genus Salmonella、Genus Shigella
18		4,5	感染生化	マイコプラズマ、芽胞染色			マイコプラズマ、芽胞菌の特徴が説明できる	Genus Mycoplasma、Genus Clostridium、Genus Bacillus

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、5、6

学位授与の方針(医学科)との関連:1、2、3、4、5

評価:実習態度およびレポートにより評価します。3分野全ての実習を合格することが必要です。

実務経験との関連

●ウイルス学分野:本学・他大学医学部に於ける学生実習指導と研究。国内外研究施設に於ける研究。国内外研究施設による臨床検査指導。ワクチンメーカーに於ける製造・品質検査。

●細菌学分野:本学・他大学医学部に於ける学生実習指導と研究。国内外研究施設に於ける研究。政府開発援助による臨床検査指導。ワクチンメーカーに於ける製造・品質検査。

行政機関における食肉衛生検査。

●医動物学分野:本学・他大学医学部に於ける学生講義と研究。国内外研究施設に於ける研究。病院診療。寄生虫症例についての医療相談

その他:実習用白衣の着用が必須です。白衣未着用など実習を履行できない場合には、実習参加を認めません。電子機器類の使用の可否については、各担当教員にお訪ね下さい。

各教員への連絡方法:それぞれの担当分野のホームページから連絡先を検索し、直接ご連絡下さい。

科目責任教員への連絡方法:面談その他は、随時可能です。特に、放課後5時から7時を学生面談の標準時間としています。連絡はHPにメールアドレス、電話番号を記しています。

病理学各論(病理学各論Ⅰ・Ⅱ・講義と実習)

科目到達目標:疾病の概念と発生機構、病態生理や病理形態学的特性を理解する
各臓器の病態における組織学的変化を時系列にそって述べるができる。
科目責任者(所属教室):加藤 雅子(分子病理学)

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	4/1(月)	3	323	食道講義	梅北 善久	器官病理学	食道癌、食道炎の病因、病態、組織像について理解する。	扁平上皮癌、上皮内腫瘍、Barrett食道、Barrett腺癌、食道炎
2	4/1(月)	4	323	肝疾患講義	加藤 雅子	分子病理学	肝疾患の病因、病理について説明できる	代謝疾患、循環障害、炎症、腫瘍(原発性肝癌の病因、病理)
3	4/2(火)	1	323	ウイルス性肝炎、肝硬変	岡野 淳一	機能病態 内科学	ウイルス性肝炎、肝硬変の病因、病理、病態	肝炎ウイルス、肝細胞障害、慢性化、肝線維化、肝機能障害、肝性脳症、食道静脈瘤、門脈圧亢進症
4	4/2(火)	2	323	胆道疾患講義	加藤 雅子	分子病理学	胆道疾患の病理について説明できる	胆石症、胆嚢炎、胆管炎、胆嚢癌、胆嚢ポリープ、先天性胆道拡張症、痔、胆管合流異常症
5	4/3(水)	3	323	女性生殖器講義1	野坂 加苗	器官病理学	子宮頸部と体部の疾患について説明できる	HPV、CIN、扁平上皮癌、子宮頸部細胞診、子宮体癌(I型、II型)、子宮内膜増殖症、エストロゲン、p53、子宮内膜症、子宮腺筋症
6	4/3(水)	4	323	呼吸器講義1	長田 佳子	分子病理学	呼吸器の循環障害を説明できる。	浮腫、うっ血、出血、血栓、塞栓、梗塞、血管炎、肺高血圧症
7	4/4(木)	1	323	脾疾患講義	加藤 雅子	分子病理学	脾疾患の病因、病理について説明できる	急性脾炎、慢性脾炎、脾癌、嚢胞性脾疾患
8	4/8(月)	3	323	胃講義	梅北 善久	器官病理学	腺腫、胃癌、胃潰瘍、胃炎の病因、病態、組織像について理解する。	胃炎、腸上皮化生、消化性潰瘍、H. pylori 感染症、MALリンパ腫
9	4/8(月)	4	323	呼吸器講義2	長田 佳子	分子病理学	呼吸器感染症と気管支炎や肺炎、びまん性肺胞障害を説明できる。	細菌性肺炎、ウイルス性肺炎、肺結核、真菌性肺炎、肺膿瘍、細気管支炎、急性呼吸窮迫症候群
10	4/9(火)	1	421	大腸講義 (腫瘍)	梅北 善久	器官病理学	大腸腫瘍の病因、病態、病理組織分類について概説できる。	腺腫、腺癌、de novo 癌、HNPGC、Dukes分類、Carcinoid、P-J polyp、Juvenile polyp
11	4/9(火)	2	組織系	講義と実習: 肝胆臓 1	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦	病理部 分子病理学	肝疾患の病理組織像を説明できる。	肝臓の構造、肝細胞癌、肝内胆管癌
12	4/10(水)	3	組織系	講義と実習: 女性生殖器1	野坂・坂部	器官病理学	代表的な子宮頸部・体部疾患の組織像について説明できる	CIN、子宮頸癌(SCC、AC)、子宮体癌(EC、SC)、子宮内膜増殖症、子宮腺筋症
13	4/10(水)	4	323	大腸講義 (炎症性腸疾患)	梅北 善久	器官病理学	潰瘍性大腸炎、クローン病の病因病態、組織像について概説できる。	潰瘍性大腸炎、類上皮肉芽腫、クローン病、腸結核、ベーチェット病、虚血性大腸炎
14	4/11(木)	1	323	肝障害機序と病態連繋	汐田 剛史	遺伝子医療学	肝障害機序、病態連繋	薬物性肝障害、アルコール性肝障害、ウイルス性肝炎、肝硬変、肝細胞癌、肝不全
15	4/15(月)	3	組織系	講義と実習: 肝胆臓 2	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦	病理部 分子病理学	肝胆道疾患、脾疾患の病理組織像を説明できる。	胆嚢癌、脾癌
16	4/15(月)	4	組織系	講義と実習: 肝胆臓 3	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦	病理部 分子病理学	肝疾患、胆道疾患、脾疾患の病理組織像を説明できる。	急性肝炎、慢性肝炎
17	4/16(火)	1	421	女性生殖器講義2	野坂加苗	器官病理学	卵巣腫瘍と絨毛性疾患について説明できる	ERON、卵巣上皮性腫瘍(I型、II型)、Krukenberg腫瘍、Brenner腫瘍、BRCA1/2(HBOC)、STIC、卵巣間質性腫瘍、胚細胞性腫瘍、絨毛癌、胎状奇胎
18	4/16(火)	2	組織系	講義と実習: 肝胆臓 4	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦	病理部 分子病理学	肝疾患、胆道疾患、脾疾患の病理組織像を説明できる。	肝硬変、原発性胆汁性肝硬変
19	4/17(水)	3	組織系	講義と実習: 女性生殖器2	野坂・坂部	器官病理学	代表的な卵巣腫瘍、絨毛性疾患の組織像について説明できる	卵巣上皮性腫瘍(漿液性、粘液性、類肉性、類内膜)、Krukenberg腫瘍、Brenner腫瘍、卵巣間質性腫瘍、胚細胞性腫瘍、絨毛癌、胎状奇胎

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	講義分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
20	4/17(水)	4	323	皮膚・感覚器講義1	野坂 加苗	器官病理学	代表的な炎症性皮膚疾患について説明できる。	急性皮膚炎(湿疹, 多形紅斑), 慢性皮膚炎(乾癬, 扁平苔癬), 水痘性皮膚疾患(天疱瘡, 類天疱瘡), desmoglein, BPAG, 尋常性疣贅, 白癬, 膿疱疹, 脂漏性皮膚炎
21	4/18(木)	1	323	乳腺講義1	梅北 善久	器官病理学	良性乳腺疾患, 乳癌の病因病態, 組織分類について概説できる。	線維腺腫, 非浸潤性乳管癌, 浸潤性乳管癌, 小葉癌, 非浸潤性小葉癌, アポクリン癌
22	4/22(月)	3	組織系	講義と実習: 食道・胃	梅北・坂部	器官病理学	食道癌, 前癌病変, 胃癌, 胃炎の組織像を説明できる。	上皮内腫瘍, 分化度, 印環細胞癌, バレット食道, バレット腺癌
23	4/22(月)	4	323	呼吸器講義3	桑本 聡史	病理部	間質性肺炎患, 塵肺症, 免疫学的機序による呼吸器疾患を説明できる。	間質性肺炎, 過敏性肺臓炎, 器質性肺炎, サルコイドーシス, 膠原病
24	4/23(火)	1	421	乳腺講義2	梅北 善久	器官病理学	乳癌の予後因子, 治療効果予測因子について概説できる。	ER, PgR, HER2, 核異型度, 組織学的異型度, センチネルリンパ節, Ki-67, TN乳癌
25	4/23(火)	2	組織系	講義と実習: 皮膚感覚器1	野坂・坂部	器官病理学	代表的な皮膚・感覚器疾患の組織像が説明できる。	皮膚原発腫瘍(扁平上皮癌, 基底細胞癌, 色素性母斑, 悪性黒色腫等), 湿疹, 天疱瘡, 類天疱瘡, 上咽頭未分化癌, 真珠腫性中耳炎, 網膜芽細胞腫
26	4/24(水)	3	323	骨・軟部腫瘍講義1	梅北 善久	器官病理学	代表的な骨軟部腫瘍の病因, 病態, 悪性度, 鑑別診断について概説できる。	未分化多形肉腫, PNET/Ewing 肉腫, 脂肪肉腫, 横紋筋肉腫, 平滑筋肉腫, 骨肉腫, 軟骨肉腫
27	4/24(水)	4	323	呼吸器講義4	桑本 聡史	病理部	呼吸器腫瘍および胸膜・縦隔疾患を説明できる。	扁平上皮癌, 腺癌, 小細胞癌, 大細胞癌, 悪性リンパ腫, カルチノイド, 中皮腫
28	4/25(木)	1	組織系	講義と実習: 肝胆脾 5	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦	病理部 分子病理学	肝胆道疾患、脾疾患の病理組織像を説明できる。	脾嚢胞疾患
29	5/8(水)	3	323	内分泌病理講義1	林 一彦	分子病理学	甲状腺と副甲状腺疾患の病態と形態変化を説明できる。	粘液水腫、クレチン病、バセドウ病、慢性甲状腺炎(橋本病)、甲状腺過形成、甲状腺腺腫、甲状腺がん、副甲状腺機能亢進症と低下症
30	5/8(水)	4	323	内分泌病理講義2	林 一彦	分子病理学	下垂体、副腎と脾臓疾患の病態と形態変化を説明できる。	Cushing病、巨人症、末端肥大症、小人症、Simmonds病 (Sheehan syndrome)、尿崩症、ADH不適切分泌症候群、下垂体腺腫、Addison病、Cushing症候群、Conn症候群、褐色細胞腫、先天性副腎皮質過形成、神経芽腫、腺内分泌腫瘍 (islet cell tumors)
31	5/13(月)	3	組織系	講義と実習: 乳腺	梅北・坂部	器官病理学	良性乳腺疾患, 乳癌の代表的な組織像について理解する。	乳頭腫, 線維腺腫, 葉状腫瘍, 非浸潤性乳管癌, 浸潤性乳管癌, 非浸潤性小葉癌, 浸潤性小葉癌, 粘液癌, 微小乳頭癌
32	5/14(火)	1	組織系	講義と実習: 乳腺	梅北・坂部	器官病理学	良性乳腺疾患, 乳癌の代表的な組織像について理解する。	乳頭腫, 線維腺腫, 葉状腫瘍, 非浸潤性乳管癌, 浸潤性乳管癌, 非浸潤性小葉癌, 浸潤性小葉癌, 粘液癌, 微小乳頭癌
33	5/14(火)	2	421	皮膚・感覚器講義2	野坂 加苗	器官病理学	代表的な皮膚腫瘍・感覚器疾患について概説できる。	ピリミジンダイマー, スクレオチド除去修復, Hodgehog経路, RAS経路, oncogene induced senescence, 扁平上皮癌, 基底細胞癌, 色素性母斑, 悪性黒色腫, 網膜芽細胞腫, 乳頭腫
34	5/15(水)	1	組織系	講義と実習: 太陽	梅北・坂部	器官病理学	大腸腺腫, 大腸癌, 潰瘍性大腸炎, クローム病の組織像を説明できる。	異型度, 脈管侵襲, Dysplasia, 分化度, 深達度
35	5/15(水)	2	組織系	講義と実習: 皮膚感覚器2	野坂・坂部	器官病理学	代表的な皮膚・感覚器疾患の組織像が説明できる。	皮膚原発腫瘍(扁平上皮癌, 基底細胞癌, 色素性母斑, 悪性黒色腫等), 湿疹, 天疱瘡, 類天疱瘡, 上咽頭未分化癌, 真珠腫性中耳炎, 網膜芽細胞腫
36	5/16(木)	1	323	呼吸器講義5	桑本 聡史	病理部	呼吸器腫瘍および胸膜・縦隔疾患を説明できる。	扁平上皮癌, 腺癌, 小細胞癌, 大細胞癌, 悪性リンパ腫, カルチノイド, 中皮腫
37	5/20(月)	3	組織系	講義と実習: 呼吸器 1	桑本聡史、 長田佳子、 加藤雅子、 林 一彦	病理部 分子病理学	呼吸器感染症および免疫学的機序による呼吸器疾患を病理組織学的に説明できる。呼吸器腫瘍および胸膜・縦隔疾患を病理組織学的に説明できる。呼吸器疾患の組織像が説明できる。	細菌性肺炎, ウイルス性肺炎, 肺結核, 真菌性肺炎, サルコイドーシス, 膠原病, 扁平上皮癌, 腺癌, 小細胞癌, 悪性リンパ腫, カルチノイド, ARDS, 通常型間質性肺炎 (特発性肺線維症), アスベスト肺, 中皮腫, 肺胞蛋白症
38	5/20(月)	4	組織系	講義と実習: 呼吸器 2	桑本聡史、 加藤雅子、 長田佳子、 林 一彦	病理部 分子病理学	呼吸器疾患の組織像が説明できる。	ARDS, 通常型間質性肺炎 (特発性肺線維症), アスベスト肺, 中皮腫, 肺胞蛋白症

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	講義・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
39	5/21(火)	1	組織系	講義と実習：呼吸器 3	長田佳子、 加藤雅子、 桑本聡史、 林 一彦、 加藤 雅子	病理部 分子病理学	呼吸器循環障害をきたす疾患を病理組織学的に説明できる。閉塞性、拘束性障害をきたす呼吸器疾患を病理組織学的に説明できる。	浮腫、うつ血、出血、血栓、塞栓、肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、ARDS、pneumoconiosis、肺線維症
40	5/21(火)	2	組織系	講義と実習：呼吸器 4	長田佳子、 加藤雅子、 桑本聡史、 林 一彦	病理部 分子病理学	呼吸器感染症および免疫学的機序による呼吸器疾患を病理組織学的に説明できる。呼吸器腫瘍および胸膜、縦隔疾患を病理組織学的に説明できる。呼吸器疾患の組織像が説明できる。	細菌性肺炎、ウイルス性肺炎、肺結核、真菌性肺炎、サルコイドーシス、膠原病、扁平上皮癌、腺癌、小細胞癌、大細胞癌、悪性リンパ腫、カルチノイド、ARDS、通常型間質性肺炎（特発性肺線維症）、アスペスト肺、中皮腫、肺胞蛋白症
41	5/23(木)	1	323	骨・軟部腫瘍講義2	梅北 善久	器官病理学	代表的な骨軟部腫瘍の病因、病態、悪性度、鑑別診断について概説できる	未分化多形肉腫、PNET/Ewing 肉腫、脂肪肉腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、骨肉腫、軟骨肉腫
42	5/27(月)	3	323	特別講義（腎尿路系腫瘍）	長嶋 洋治	(非常勤講師)	代表的な腎尿路系腫瘍の病因、病態、病理組織分類について概説できる	腎細胞癌、VHL、Wilms tumor、血管筋脂肪腫、膀胱癌、
43	5/27(月)	4	323	特別講義（腎尿路系腫瘍）	長嶋 洋治	(非常勤講師)	代表的な腎尿路系腫瘍の病因、病態、病理組織分類について概説できる	前立腺癌、前立腺肥大、精巣腫瘍、PSA、hCG
44	5/28(火)	1	組織系	講義と実習：腎尿路系	野坂・坂部	器官病理学	代表的な腎尿路系疾患の組織像について説明できる。	Clear cell RCC、Urothelial carcinoma、前立腺癌、Wilms tumor
45	5/28(火)	2	323	糸球体腎炎講義	野坂加苗	器官病理学	腎炎、ネフローゼ、壊発性糸球体疾患、急性尿細管障害の成り立ちを説明できる	糸球体濾過機構、免疫複合体、漂着抗原、補体系、感染症後腎炎、RPGN、腹性腎症、微小変化群、FSGS、MPGN、IgA腎症、糖尿病性腎症、SLE（ループス腎炎）、急性尿細管壊死
46	5/30(木)	1	組織系	講義と実習：骨・軟部腫瘍	梅北・坂部	器官病理学	代表的な骨軟部腫瘍の組織像について説明できる	未分化多形肉腫、PNET/Ewing 肉腫、脂肪肉腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、骨肉腫、軟骨肉腫
47	6/3(月)	3	323	血液造血器講義1	林 一彦	分子病理学	白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫が説明できる。	急性白血病、慢性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫
48	6/3(月)	4	323	血液造血器講義2	林 一彦	分子病理学	貧血、凝固異常をきたす疾患、リンパ節の非腫瘍性疾患および脾腫をきたす疾患が説明ができる。	鉄欠乏性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血、出血傾向、特発性血小板減少性紫斑病、DIC、血友病、結核、壊死性リンパ節炎、cat scratch disease、脾腫
49	6/4(火)	1	組織系	講義と実習：内分泌系 1	林 一彦、 加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子	病理部 分子病理学	甲状腺と副甲状腺の病気における形態的変化を説明できる。	粘液水腫、クレチン病、甲状腺機能亢進症、慢性甲状腺炎、濾胞状腺腫、乳頭癌、濾胞癌、髄様癌、くる病
50	6/4(火)	2	323	心血管講義 1	野坂加苗	器官病理学	血管の変性疾患と血管炎について説明ができる	粥状動脈硬化症、細動脈硬化症、動脈瘤、大動脈解離、Marfan症候群、Ehlers-Danlos症候群、静脈瘤、血管炎、ANCA
51	6/6(木)	1	組織系	講義と実習：内分泌系 2	林 一彦、 加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子	病理部 分子病理学	下垂体、副腎と臓臓の病気における形態的変化を説明できる。	巨人症、末端肥大症、小人症、Simmond病、尿崩症、下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、クッシング症候群、コーン症候群、アジソン病、副腎皮質過形成、副腎皮質腺腫、褐色細胞腫、糖尿病、インスリンオマ
52	6/10(月)	3	323	脳神経病理学講義 1	加藤 信介	脳病態医科学	脳血管障害の病因・病態・病理組織像を説明できる。	脳動脈硬化症、細動脈硬化症、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血（脳動脈瘤）、ピンスワンガン一病
53	6/10(月)	4	323	特別講義（動脈硬化症の病理）	谷本 昭英	(非常勤講師)	動脈硬化症の総論と病因病態について概説できる。	粥状硬化、中膜石灰化硬化、細動脈硬化、スカベンジャー受容体、泡沫細胞、プラーク
54	6/10(月)	5	323	脳神経病理学講義2	加藤 信介	脳病態医科学	神経変性疾患 (I) の病因・病態・病理組織像を説明できる。	アルツハイマー病、ピック病、パーキンソン病
55	6/11(火)	1	323	脳神経病理学講義3	加藤 信介	脳病態医科学	神経変性疾患 (II) の病因・病態・病理組織像を説明できる。	筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症
56	6/11(火)	2	323	脳神経病理学講義4	加藤 信介	脳病態医科学	原発性脳腫瘍の病因・病態・病理組織像を説明できる。	Astrocytoma, Glioblastoma, Oligodendroglioma, Ependymoma, Medulloblastoma, Meningioma, Schwannoma
57	6/13(木)	1	組織系	講義と実習：内分泌系 3	桑本聡史、 林 一彦、 加藤雅子、 長田佳子	病理部 分子病理学	内分泌疾患の組織像が説明できる。。	下垂体腺腫、副甲状腺過形成、甲状腺髄様癌、神経芽腫、膵内分泌腫瘍

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
58	6/17(月)	1	組織系	講義と実習：呼吸器 5	桑本聡史、 加藤雅子、 長田佳子、 林 一彦	病理部 分子病理学	呼吸器疾患の組織像が説明できる。	ARDS、通常型間質性肺炎(特発性肺線維症)、アスペスト肺、中皮腫、肺胞蛋白症
59	6/18(火)	1	組織系	講義と実習：血液造血器1	林 一彦、 加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子	病理部 分子病理学	血液、リンパ節および脾臓の炎症や腫瘍性疾患の病理組織が説明できる。	貧血、出血傾向、結核性リンパ節炎、壊死性リンパ節炎、cat scratch disease
60	6/18(火)	2	組織系	講義と実習：血液造血器2	林 一彦、 加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子	病理部 分子病理学	血液・造血器疾患の病態や組織像が説明できる。	急性白血病、慢性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫
61	6/19(水)	1	組織系	講義と実習：糸球体腎炎	野坂・坂部	器官病理学	代表的な糸球体疾患の組織像を説明できる	微小変化群、FSGS、RPGN、MPGN、IgA腎症、膜性腎症、糖尿病性腎症、急性尿管炎
62	6/19(水)	2	組織系	講義と実習：心血管1	野坂・坂部	器官病理学	代表的な心血管疾患の組織像について説明ができる	動脈硬化症、嚢胞性中膜壊死、心筋肥大、心筋症、左房粘液腫、血管炎、血管腫、血管肉腫
63	6/20(木)	1	組織系	講義と実習：血液造血器3	桑本聡史、 林 一彦、 加藤雅子、 長田佳子	病理部 分子病理学	血液・造血器疾患の病態や組織像が説明できる。	巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、骨髄腫、ランゲルハンス組織球症、脾腫
64	6/24(月)	1	421	脳神経病理学講義5	加藤 信介	脳病態医科学	中枢疾患の感染症の病因・病態・病理組織像を説明できる。	髄膜炎(化膿性・真菌性)、脳腫瘍、ウイルス性脳炎(単純ヘルペス性脳炎・亜急性硬化性全脳炎・進行性多巣性白質脳症)
65	6/25(火)	1	323	心血管講義2	野坂加苗	器官病理学	心臓の疾患と循環器の腫瘍について説明ができる	心不全、虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、心筋症(拡張型、肥大型、拘束型)、弁疾患(狭窄症、閉鎖不全症)、粘液腫、血管腫、血管肉腫
66	6/25(火)	2	組織系	講義と実習：心血管2	野坂・坂部	器官病理学	代表的な心血管疾患の組織像について説明ができる	動脈硬化症、嚢胞性中膜壊死、心筋肥大、心筋症、左房粘液腫、血管炎、血管腫、血管肉腫
67	6/26(水)	1	323	脳神経病理学講義6	加藤 信介	脳病態医科学	脱髄性疾患及び白質ジストロフィーの病因・病態・病理組織像を説明できる。	多発性硬化症、デビック病、白質ジストロフィー(副腎白質ジストロフィー)、水頭症(Arnold-Chiari奇形、Dandy-Walker症候群)
68	6/26(水)	2	323	脳神経病理学講義7	加藤 信介	脳病態医科学	頭部外傷及び脳外傷の病因・病態・病理組織像を説明できる。	頭蓋骨折、挫挫傷、硬膜外血腫、硬膜下血腫、ビタミンB1欠乏症(ウェルニッケ脳症・脚気)、一酸化炭素中毒
69	6/26(水)	5	323	脳神経病理学講義8	加藤 信介	脳病態医科学	末梢神経疾患の病因・病態・病理組織像を説明できる。筋疾患の病因・病態・病理組織像を説明できる。	ギラン・バレー症候群、進行性筋ジストロフィー、重症筋無力症、神経原性筋萎縮、筋原性筋萎縮
70	7/2(火)	1	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	神経病理組織学入門としての中枢神経組織の構造が説明できる。	運動野(Betz cells, 5層構造)、Ammon's horn (Sommer's sector = CA1, CA2, CA3, CA4, 海馬歯状回, 側頭葉 = 6層構造)、視床・被殻・淡蒼球・前・中・後・内包、中脳(黒質 動眼神経核、赤核、上丘)、橋(青斑核、橋核、橋横線、橋縦線、延髄(舌下神経核、迷走神経背側核、下オリーブ核、延髄錐体)、小脳半球(分子層、Purkinje細胞層、顆粒細胞層、小脳歯状核)、脊髄(前角細胞、Clarke細胞・中間質外側核 = Th11)
71	7/2(火)	2	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	脳血管障害に伴う中枢神経組織像が説明できる。	脳出血(新鮮、高血圧性脳出血、細動脈硬化症)、脳梗塞(小梗塞巣、大梗塞巣)、Binswanger病(細動脈硬化症、高血圧性血管病変、有髄線維の変性・消失)
72	7/2(火)	5	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	脳血管障害と中枢性感染症に伴う中枢神経組織像が説明できる。	脳出血(新鮮、高血圧性脳出血、細動脈硬化症)、脳梗塞(小梗塞巣、大梗塞巣)、Binswanger病(細動脈硬化症、高血圧性血管病変、有髄線維の変性・消失)、化膿性髄膜炎
73	7/3(水)	1	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	中枢性感染症と脱髄と白質ジストロフィーの中枢神経組織像が説明できる(I)。	日本脳炎、進行性多巣性白質脳症(PML)、ヘルペス脳炎、脊髄癆(梅毒)、多発性硬化症、副腎白質ジストロフィー
74	7/3(水)	2	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	中枢性感染症と脱髄と白質ジストロフィーの中枢神経組織像が説明できる(II)。	日本脳炎、進行性多巣性白質脳症(PML)、ヘルペス脳炎、脊髄癆(梅毒)、多発性硬化症、副腎白質ジストロフィー

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
75	7/4(木)	1	323	講義・復習	加藤雅子	分子病理学	これまでに学習、実習した病理学の内容が説明できる	肝胆道疾患・脾疾患・呼吸器疾患・内分泌疾患・血液疾患
76	7/9(火)	1	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	脱髄と白質ジストロフィーと栄養障害および中毒症に伴う中枢神経組織像が説明できる。	多発性硬化症、副腎白質ジストロフィー、一酸化炭素中毒、Wernicke脳症
77	7/9(火)	2	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	変性疾患に伴う中枢神経組織像が説明できる(Ⅰ)。	Alzheimer病、筋萎縮性側索硬化症、オリブ橋小脳萎縮症(OPCA)、Parkinson病
78	7/10(水)	1	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	変性疾患に伴う中枢神経組織像が説明できる(Ⅱ)。	Alzheimer病、筋萎縮性側索硬化症、オリブ橋小脳萎縮症(OPCA)、Parkinson病
79	7/10(水)	2	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	脳腫瘍の組織像が説明できる(Ⅰ)。 筋ジストロフィーに伴う筋肉組織像が説明できる(Ⅰ)。	Glioblastoma, Astrocytoma, Meningioma, Schwannoma, Ependymoma, Oligodendroglioma, Medulloblastoma, Duchenne型筋ジストロフィー
80	7/11(木)	1	組織系	講義と実習：総復習	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦	分子病理学 病理部	呼吸器疾患、内分泌疾患、血液疾患、肝胆道系疾患、脾疾患の病理組織像が説明できる。	各臓器の主な炎症、代謝性疾患、循環障害、免疫異常、良性、悪性腫瘍
81	7/12(金)	1	組織系	講義と実習：神経病理学	加藤 信介	脳病態医科学	脳腫瘍の組織像が説明できる(Ⅱ)。 筋ジストロフィーに伴う筋肉組織像が説明できる(Ⅱ)。	Glioblastoma, Astrocytoma, Meningioma, Schwannoma, Ependymoma, Oligodendroglioma, Medulloblastoma, Duchenne型筋ジストロフィー
82	7/17(水)	1	組織系	実習試験	梅北・野坂 坂部	器官病理学	病理学総論と各論で学習した全ての病変の組織像の理解度を把握する。	病理学総論と各論で重要な疾患、病理診断名、病理組織所見、臓器同定
83	7/17(水)	2	組織系	実習試験予備	梅北・野坂 坂部	器官病理学	病理学総論と各論で学習した全ての病変の組織像の理解度を把握する。	病理学総論と各論で重要な疾患、病理診断名、病理組織所見、臓器同定
84	7/23(火)	1	組織系	実習試験	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦、 加藤信介	病理部 分子病理学 脳病態医科学	病理学総論と各論で学習した全ての病変の組織像の理解度を把握する。	病理学総論と各論で重要な疾患、病理診断名、病理組織所見、臓器同定
85	7/23(火)	2	組織系	実習試験予備	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦、 加藤信介	病理部 分子病理学 脳病態医科学	病理学総論と各論で学習した全ての病変の組織像の理解度を把握する。	病理学総論と各論で重要な疾患、病理診断名、病理組織所見、臓器同定
89	7/30(火)	9:00～ 10:30	組織系	病理学各論Ⅱ(分子病理・ 脳病態)定期試験	加藤雅子、 桑本聡史、 長田佳子、 林 一彦、 加藤信介	病理部 分子病理学 脳病態医科学	日程と試験室は左記に決定です。	病理学総論と各論で重要な疾患、病理診断名、病理組織所見、臓器同定
90	7/31(水)	13:00～ 14:30	組織系	病理学各論Ⅰ(器官病理学)定期試験	梅北・野坂 坂部	器官病理学	日程と試験室は左記に決定です。	

(教育グラウンドデザインとの関連)「現代的教養」②特定の専門分野に関する理解、「人間力」(G)自律性にもとづく実行力
(学位授与の方針(全学))②現実を生起する様々な諸課題を探索し解決していくのに必要な、論理的思考力、批判的判断力、創造的表現力

授業レベル:3 (中級～上級レベル)

評価: 定期試験・講義と実習試験・講義と実習態度・スケッチを総合的に評価する

実務経験との関連: 病理解剖・病理診断に携わった経験を持つ教員が病理学の講義・実習を行う。

推奨教科書: Basic Pathology (9th eds.), ルーベン病理学(西村書店), 解明病理学(医歯薬出版), 標準病理学(医学書院)

講義と実習参考書: 組織病理アトラス(文光堂), ダイナミック病理学(西村出版), 病理組織の見方と鑑別診断(医歯薬出版)

担当教員への連絡方法: 器官病理学、分子病理学、脳病態医科学の各教室に来てください。

人類遺伝学

科目到達目標: ヒトにおける遺伝的バリエーション、病気における遺伝の関与、さらにその診断や治療への応用が理解できる。

科目責任者(所属教室): 難波 栄二(非常勤講師)

連絡先: 難波 栄二: E-mail enanba@tottori-u.ac.jp

前垣義弘、斎藤義郎、岡崎哲也、成田綾・研究室 TEL:0859-38-6777 へ伝言してください

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/4(木)	2	323	医学における遺伝学	難波 栄二	研究推進機構研究戦略室 (非常勤講師)	遺伝学の重要性を理解する。	遺伝と環境、遺伝学の歴史、ヒトゲノム計画、遺伝子解析技術の進歩
2	4/11(木)	2	323	細胞分裂と染色体	難波 栄二	研究推進機構研究戦略室 (非常勤講師)	細胞分裂と染色体を理解する。	生殖細胞系列、体細胞系列、染色体の構造、体細胞分裂、減数分裂、受精
3	4/18(木)	2	323	遺伝子の構造と機能	難波 栄二	研究推進機構研究戦略室 (非常勤講師)	ヒトゲノムの構造と機能を理解する。	ヒトゲノム構造、非コードRNA、遺伝子発現、転写、翻訳、スプライシング、ミトコンドリアゲノム
4	4/25(木)	2	323	単一遺伝子疾患(1)	岡崎 哲也	脳神経小児科学	遺伝子変異と病気の関係を理解する(1)。	メンデル遺伝、遺伝形式、遺伝子異常と病気
5	5/9(木)	2	323	染色体異常症	難波 栄二	研究推進機構研究戦略室 (非常勤講師)	細胞遺伝学の技術と染色体異常を理解する。	染色体の検出法、マイクロアレイ技術、染色体異常症、不分離、ダウン症
6	5/16(木)	2	323	遺伝的バリエーションと家系図	難波 栄二	研究推進機構研究戦略室 (非常勤講師)	遺伝子のバリエーションと病気の関係を理解する。	アレル、多型、変異、表現型、遺伝型、ハプロタイプ、家系図
7	5/23(木)	2	323	薬理遺伝学	難波 栄二	研究推進機構研究戦略室 (非常勤講師)	薬理遺伝学について理解する。	薬理遺伝学、ゲノム薬理学、個人差
8	5/30(木)	2	323	出生前診断	難波 栄二	研究推進機構研究戦略室 (非常勤講師)	出生前診断について理解する。	絨毛採取、羊水穿刺、着床前診断、新生児出生前診断
9	6/6(木)	2	323	単一遺伝子疾患(2)	岡崎 哲也	脳神経小児科学	遺伝子変異と病気の関係を理解する(2)。	ゲノム刷り込み、ミトコンドリア遺伝、三塩基繰り返し配列異常
10	6/13(木)	2	323	多因子疾患	岡崎 哲也	脳神経小児科学	多因子疾患の遺伝を理解する。	ポリジーン効果、相対リスク、双生児研究、量的形質
11	6/20(木)	2	323	遺伝カウンセリングと倫理問題	難波 栄二	研究推進機構研究戦略室 (非常勤講師)	遺伝カウンセリングと関連ガイドラインについて理解する。	遺伝カウンセリング、関連ガイドライン
12	6/27(木)	2	323	腫瘍遺伝学	岡崎 哲也	脳神経小児科学	家族性腫瘍とがんゲノム医療について理解する。	がん遺伝子、がん抑制遺伝子、ヘテロ接合性喪失
13	7/4(木)	2	323	遺伝学的診断	前垣 義弘	脳神経小児科学	遺伝病の診断を理解する。	生化学診断、遺伝子診断、新生児スクリーニング
14	7/11(木)	2	323	遺伝病の原因遺伝子の同定	岡崎 哲也	脳神経小児科学	遺伝病の原因遺伝子を探求する方法を理解する。	遺伝子マッピング、ゲノムワイド関連解析、ポジショナールクロニング
15	7/18(木)	2	323	遺伝性疾患の治療	成田 綾	脳神経小児科	遺伝病の治療法について理解する。	酵素補充療法、遺伝子治療、細胞治療、移植治療、低分子治療

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連: 1、2、5

学位授与の方針との関連: 1、3、4

授業のレベル: 3

評価: 定期試験100%

実務経験との関連: 遺伝カウンセリングや遺伝学的診断などの経験をもつ教員が、人の遺伝の基礎知識から遺伝カウンセリングや遺伝学的診断などのゲノム医療の知識を講義する。

教科書: 遺伝医学やさしい系統講義18講、メディカルサイエンス・インターナショナル 監修 福島義光 2013年

参考書: トンプソン&トンブソン 遺伝医学 第2版、メディカル・サイエンス・インターナショナル 監訳 福島義光 2017年

メディカルコミュニケーション

科目到達目標:医療面接の意義を理解した上で、基本的なコミュニケーションスキルを理解し、実践できる。

科目責任者(所属教室):兼子 幸一(精神行動医学) 連絡先: 精神科医局に伝言してください

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	5/22(水)	3	323	医学におけるコミュニケーションの役割・意義	兼子 幸一	精神行動医学	・医療面接の意義を理解する。 ・コミュニケーションスキルが臨床能力であること を理解する。 ・問診と医療面接の違いを理解する。	・コミュニケーションスキル ・医療行為、医師患者関係 ・受容、共感
2	5/29(水)	3	323	医療面接の技法－①	兼子 幸一	精神行動医学	・医療面接の基本的技法の各々につき、その役割を理解する:導入、質問、傾聴、支持と共感、情報の授受	医療面接の技法－① ・導入 ・質問 ・傾聴 ・支持と共感 ・情報の授受
3	6/5(水)	3	323	社会認知と医療面接概論	兼子 幸一	精神行動医学	・コミュニケーションに関する基本的事項を理解する。 ・コミュニケーションにおける言語的要素、非言語的要素の役割を理解する。 ・医療面接技法の階層構造を理解する。	・患者の考え、感情、不安の理解 ・解釈モデル ・言語的メッセージ、非言語的メッセージ ・かわり行動
4	6/12(水)	3	323	医療面接の技法－②	兼子 幸一	精神行動医学	・同上: 要約と確認、焦点付け、マネジメント、終結	医療面接の技法－② ・要約と確認 ・焦点付け ・マネジメント ・終結
5	6/19(水)	3	323、ETU3-5~13	医療面接実習－①	兼子 幸一 岩田 正明	精神行動医学	・医療面接の基本的な技法を実践できる。自身自身のコミュニケーションの特性を知る。	・模擬患者、共感、ロールプレイ、フィードバック、メタ認知
6	6/19(水)	4	323、ETU3-5~13	医療面接実習－②	兼子 幸一 岩田 正明	精神行動医学		
7	6/26(水)	3	323、ETU3-5~13	医療面接実習－③	兼子 幸一 岩田 正明	精神行動医学	・医療面接の基本的な技法を実践できる: 特に関わった質問、促し、共感、要約と確認 ・OSCE(Objective Structured Clinical Examination)の医療面接で要求されることを理解する。	・ロールプレイ、フィードバック、メタ認知 ・関わった質問、要約と確認 ・OSCE
8	6/26(水)	4	323、ETU3-5~13	医療面接実習－④	兼子 幸一 岩田 正明	精神行動医学		

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育プログラムデザインとの関連:5、6、7

学位授与の方針との関連:2、3、4

授業のレベル:入門及び初級レベル

評価: 受講態度および姿勢80%、レポート20%

6/19(水)、6/26(水)は実習のために白衣が必要

画像診断入門

科目到達目標: 正常の画像解剖を説明できる

科目責任者(所属教室): 藤井 進也 (画像診断治療学)

連絡先: 放射線科医局0859-38-6637

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/5(金)	4	323	循環器の画像診断	高杉 昌平	画像診断 治療学	循環器の正常画像解剖を説明できる。	循環器の画像解剖
2	4/12(金)	4	323	骨関節の画像診断	矢田 晋作	画像診断 治療学	骨関節の正常画像解剖を説明できる。	骨関節の画像解剖
3	4/19(金)	4	323	脳の画像診断	藤井 進也	画像診断 治療学	脳の正常画像解剖を説明できる。	脳の画像解剖
4	4/26(金)	4	323	呼吸器の画像診断	塚本 和充	画像診断 治療学	呼吸器の正常画像解剖を説明できる。	呼吸器の画像解剖
5	5/10(金)	4	323	消化器の画像診断	石橋 愛	画像診断 治療学	消化器の正常画像解剖を説明できる。	消化器の画像解剖
6	5/13(月)	4	323	泌尿・生殖器の画像診断	福永 健	画像診断 治療学	泌尿・生殖器の正常画像解剖を説明できる。	泌尿・生殖器の画像解剖
7	5/24(金)	3	323	頭頸部の画像診断	足立 憲	画像診断 治療学	頭頸部の正常画像解剖を説明できる。	頭頸部の画像診断
8	5/24(金)	4	323	骨盤臓器の画像診断	藤井 進也	画像診断 治療学	男性・女性の骨盤内臓器の正常画像解剖を説明できる。	骨盤領域の画像解剖

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育ブランドデザイン: 2、3、5

学位授与の方針: 1、2、3

授業のレベル: 2

評価: 定期試験90%

学習態度10%

実務経験との関連: 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

参考書: ポケット正常画像 A to Z メディカルビュー

医学生・研修医のための画像診断リファレンス 医学書院

診断学

科目到達目標:臨床診断学において最低限必要となる症候、基本的診察手技および検査法を理解し、それぞれを各疾患の病態と関連づけて説明できる。

科目責任者(所属教室): 磯本 一(機能病態内科学)

実務担当:岡野 淳一(機能病態内科学)

連絡先:0859-38-6527

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	5/22(水)	4	323	乳房の症候学、検査	鈴木喜雅	乳腺内分分泌科	乳房の症候および画像検査を理解し、乳癌と病態と関連づけて説明できる	乳房痛、腫瘍、マンモグラフィー、超音波検査、CT、MRI、細胞診
2	5/29(水)	4	323	循環器系の症候学1	加藤 雅彦	病態情報内科学	循環器疾患において最低限必要となる症候を理解し、説明できる	胸痛、動悸、失神、呼吸困難、チアノーゼ、血圧異常、ショック
3	6/5(水)	4	323	循環器系の検査	加藤 克	病態情報内科学	循環器疾患に対する検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	胸部レントゲン、心電図、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、核医学検査、生化学検査
4	6/12(水)	4	323	代謝系の症候学、検査	檜崎 晃史	第一内科診療科群 (非常勤講師)	代謝疾患(糖尿病、脂質異常、高尿酸血症)の症候、検査の意義を理解し、病態を説明できる	肥満、やせ、多尿、糖尿、糖尿病の管理指標、合併症のマーカ―
5	6/17(月)	3	323	内分泌・代謝系の症候学	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	内分泌疾患(下垂体、甲状腺、副甲状腺)の症候を理解し病態を説明できる	肥満、やせ、動悸、高血圧、意識障害、頸部腫瘍、低身長、多尿、脱毛、月経異常、電解質異常
6	6/17(月)	4	323	内分泌・代謝系の検査	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	内分泌疾患(下垂体、甲状腺、副甲状腺)の検査・画像診断を理解し説明できる	内分泌機能検査、超音波、CT、MRI、核医学検査
7	6/28(金)	1	323	女性生殖器系の症候学、検査	千酌 潤	女性診療科群	婦人科腫瘍の症候と診断を理解する	性器出血、腹部腫瘍、細胞診、超音波断層法、CT、MRI
8	7/1(月)	3	323	眼・視覚系の症候学、検査	佐々木慎一	視覚病態学	眼疾患の症候を理解するとともに眼科における検査を習得する	視力検査、視野検査、眼底検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査
9	7/1(月)	4	323	消化器系(消化管)の症候学	磯本 一	機能病態内科学	消化器疾患(消化管)の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	嘔気・嘔吐、吐血、嚥下困難、胸やけ、食思不振、腹痛、下痢、便秘、下血、鼓腸
10	7/3(水)	3	323	皮膚の症候学	吉田 雄一	皮膚病態学	発疹学	原発疹、続発疹、皮膚病理
11	7/3(水)	4	323	神経系の症候学1	中野 俊也	医学教育学	神経疾患の症候を理解し、病態を説明できる	神経機能解剖学
12	7/5(金)	1	323	神経系の検査	花島 律子	脳神経内科学	神経疾患の諸検査を理解し、病態と関連付けて説明ができる	髄液検査、画像検査、神経生理学検査など
13	7/8(月)	3	323	神経系の診断学	花島 律子	脳神経内科学	神経疾患の病歴や症候を理解し、病態を説明できる	病歴、問診、経過、遺伝など
14	7/8(月)	4	323	神経系の症候学2	中野 俊也	医学教育学	神経疾患の症候を理解し、病態を説明できる	高次脳機能、認知機能、意識、言語、失行、失認など
15	7/9(火)	3	323	皮膚の検査	山田 七子	卒後臨床研修センター	皮膚科検査法	MED、パッチテスト、直接鏡、硝子圧法、皮膚描記症、Nikolsky現象、Kobner現象、アガヒツツ現象
16	7/9(火)	4	323	消化器系(肝胆膵)の症候学	永原 天和	機能病態内科学	消化器疾患(肝臓、胆嚢、膵臓)の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	腹水、黄疸、肝性脳症

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
17	7/10(水)	3	323	消化器系の検査 1	岡野 淳一	機能病態内科学	肝疾患の血液生化学および各種画像検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	血液検査、超音波検査、CT、MRI
18	7/10(水)	4	323	消化器系の検査2	岡野 淳一	機能病態内科学	胆・膵疾患の血液生化学および各種画像検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	血液検査、超音波検査、CT、MRI
19	7/11(木)	3	421	男性生殖器系の症候学、検査	引田 克弥	腎泌尿器学	尿路・生殖器疾患の症候および画像検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	血尿、腰背部痛、直腸診、超音波検査、静脈性尿路造影、尿道造影
20	7/11(木)	4	421	血液・造血器・リンパ系の検査	本倉 徹	臨床検査医学	血液疾患の診断に必要な骨髄検査や分子生物学的検査を理解し、説明できる	骨髄検査、FISH、染色体、PCR、フローサイトメトリ法
21	7/16(火)	3	323	血液・造血器・リンパ系の症候学	本倉 徹	臨床検査医学	血液疾患の症候を病態より理解し、説明できる	貧血、発熱、易感染性、出血傾向、リンパ節腫脹
22	7/16(火)	4	323	運動器系の症候学、検査	谷島 伸二	運動器医学	運動器疾患(四肢関節、脊椎)の症候と病態の概要を理解する	整形外科疾患(関節、脊椎)の身体所見と画像所見
23	7/17(水)	3	323	腎・泌尿器系の症候学、検査	高田 知朗	第二内科 診療科群	腎疾患の症候、血液生化学および画像検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	タンパク尿、血尿、腎機能検査、超音波検査、レノグラム、腎生検
24	7/17(水)	4	323	耳鼻咽喉口腔系の症候学 1	矢間 敬章	頭頸部診療科群	頭頸部腫瘍の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	嚥下困難、呼吸困難、嚥声、反回神経麻痺、多発性脳神経麻痺、頸部腫瘍
25	7/18(木)	3	421	精神症候学	岩田 正明	精神行動医学	精神症状、状態像を理解し、それらをもとに鑑別診断を上げることができる	意識、記憶、知能、知覚、思考、感情、意欲、状態像
26	7/18(木)	4	421	呼吸器系の症候学 1	山崎 章	分子制御内科学	呼吸器疾患(良性疾患)の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	咳、喀痰、呼吸困難、チアノーゼ、呼吸音、喀痰検査
27	7/22(月)	3	323	呼吸器系の症候学 2	小谷 昌広	分子制御内科学	呼吸器疾患(悪性疾患)の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	血痰、胸痛、胸水、腫瘍随伴症候群、腫瘍マーカー、細胞診、組織診
28	7/22(月)	4	323	耳鼻咽喉口腔系の症候学 2、検査	藤原 和典	耳鼻咽喉・頭頸部 外科学	代表的な耳鼻咽喉口腔領域の疾患の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	鼻閉、鼻漏、嗅覚障害、味覚障害、難聴、耳漏、耳痛、めまい、病巣感染症
29	7/23(火)	3	323	呼吸器系の検査	井岸 正	卒後臨床研修 センター	呼吸器疾患に対する検査を説明できる	気管支鏡検査、呼吸機能検査、ガス分析
30	7/23(火)	4	323	循環器系の症候学 2	吉田 泰之	第一内科診療科群 (非常勤講師)	観察項目を循環器疾患の各病態と関連づけて理解し、説明できる	視診、打診、触診、聴診(心音と心雑音)、血圧測定

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、6

学位授与の方針との関連:1、2

評価:定期試験～90%、授業態度～10%

実務経験との関連:現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う

(各担当教室により若干差異はあるが、原則的に上記に準じて授業態度および筆記試験等により総合的に判定する。)

放射線診断学

科目到達目標: 基本的な画像診断学の知識を習得する

科目責任者(所属教室): 藤井 進也(画像診断治療学)

連絡先: 放射線科医局 0859-38-6637

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	5/31(金)	4	323	CT・MRI	藤井 進也	画像診断治療学	CT・MRIの基本を理解する。	CT、MRI
2	6/7(金)	3	323	核医学	石橋 愛	画像診断治療学	核医学の基本を理解する。	SPECT、PET
3	6/7(金)	4	323	頭頸部	足立 憲	画像診断治療学	頭頸部疾患の画像所見を理解する。	頭頸部、画像解剖、画像所見
4	6/14(金)	3	323	呼吸器(1)	三好 秀直	画像診断治療学	呼吸器疾患の画像所見を理解する。	呼吸器、画像解剖、画像所見
5	6/14(金)	4	323	呼吸器(2)	三好 秀直	画像診断治療学	呼吸器疾患の画像所見を理解する。	呼吸器、画像解剖、画像所見
6	6/21(金)	3	323	中枢神経(1)	藤井 進也	画像診断治療学	中枢神経疾患の画像所見を理解する。	神経、画像解剖、画像所見
7	6/21(金)	4	323	中枢神経(2)	藤井 進也	画像診断治療学	中枢神経疾患の画像所見を理解する。	神経、画像解剖、画像所見
8	6/28(金)	3	323	腹部(1)	遠藤 雅之	画像診断治療学	肝・胆・膵疾患の画像所見を理解する。	肝臓、胆嚢、膵臓、画像解剖、画像所見
9	6/28(金)	4	323	腹部(2)	遠藤 雅之	画像診断治療学	肝・胆・膵疾患のMRI所見を理解する。	肝臓、胆嚢、膵臓、画像解剖、画像所見
10	7/5(金)	3	323	放射線治療に関わる診断学(1)	内田 伸恵	画像診断治療学	放射線治療に関わる画像診断の重要性を理解する。	放射線治療、画像診断
11	7/5(金)	4	323	放射線治療に関わる診断学(1)	内田 伸恵	画像診断治療学	放射線治療に関わる画像診断の重要性を理解する。	放射線治療、画像診断
12	7/12(金)	3	421	骨軟部	矢田 晋作	画像診断治療学	骨軟部疾患の画像所見を理解する。	骨軟部、画像解剖、画像所見
13	7/12(金)	4	421	循環器	橋本 政幸	(非常勤講師)	心・大血管疾患の画像所見を理解する。	心・大血管、画像解剖、画像所見
14	7/19(金)	3	421	腹部(3)	藤井 進也	画像診断治療学	女性骨盤疾患の画像所見を理解する。	女性骨盤、画像解剖、画像所見
15	7/19(金)	4	421	腹部(4)	福永 健	画像診断治療学	腎・泌尿器疾患の画像所見を理解する。	泌尿器、画像解剖、画像所見

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザイン: 2、3、5

学位授与の方針: 1、2、3

授業のレベル: 3

評価: 定期試験 90% 学習態度 10%

実務経験との関連: 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

参考書: メディカルノート 画像診断 西村書店、医学生・研修医のための画像診断リアレンス 医学書院

やさしくわかる放射線治療学 学研メディカル秀潤社